

さがまちの魅力を探しに行く

# 鶴川団地のステキ発見!

## 鶴川団地センター名店街

住所 町田市鶴川6-7  
WEB <http://www.turukawa.com/>  
アクセス 小田急小田原線「鶴川」よりバスで8分、  
バス停「センター前」から徒歩1分

実は町田にはシャッター街と  
は無縁の商店街があります。穏  
やかな鶴川駅からバスで15分、  
鶴川団地の中にある鶴川団地セ  
ンター名店街。ここは中央の広  
場を見守るような形で内向きに  
20店舗以上のお店が軒を連ね  
ています。周囲を団地が囲み、見  
守られているような感覚で利用  
ができる場所ですが、ここは全  
国でも珍しい空き店舗がほとん  
どない商店街なのです。

そこで、その情報を聞きつけ  
た我々がまち学生CLUBの  
メンバーが、その実態を探るべ  
く鶴川団地に足を運び調査をし  
ました。各地でシャッターを下  
ろすお店が多い中、約50年続く  
この商店街は一体なぜこん  
なにも未だ活気があるのか。

商店街に最も長く寄り添って  
きたお店の一つでセンター名店  
街会長を務める「佐藤商店」さ  
ん。子供達と毎日音楽や勉強、レ  
クリエーションを通して成長を  
見守る「和音の木」さん、町田の  
名産品を作り続ける人気店の  
「ル・ソレイユ」さんの三店舗の  
店主の方にインタビューをさせ  
ていただきました。

そこには各店舗それぞれの利  
用者の方とのコミュニケーション  
の仕方があり、そして一貫し  
て温かい鶴川地域への愛と、店  
舗間で連携の取れた商店街の実  
態がありました。外からは見え  
にくい商店街の魅力を紙面で  
オープンにお見せします。

## 鶴川団地を見続けてきた

肉屋  
佐藤商店

店の右手正面には、鶴川  
団地の住民の方々から高い  
支持を得ている焼き鳥販売  
所。入口には、近所の小学校  
からの社会科見学に対する  
お礼のお手紙がシワ一つな  
く貼られています。そんな  
精肉店である佐藤商店は老  
舗が立ち並び商店街の中  
も商店街ができた当初から  
営業されている老舗中の老  
舗です。

佐藤商店の店主である佐  
藤さんは鶴川団地センター  
名店街の会長を務めている  
方。聞くところによると、生  
まれてから結婚された今  
でも鶴川団地に住まわれて  
いる生粋の「鶴川団地ポー  
イ」なんだとか。ということ  
でシャッターが下りてい  
る店が一つもない「鶴川団  
地センター名店街の秘策を  
伺いました。

名店街では、月に一度店主  
たちが集まって会議を開い  
ているとのこと。商店街には  
20店舗以上の店があるわけ  
ですから月一回の会議とい  
っても簡単なものではな  
いでしょう。それだけ店主の  
方々が街を愛し守っていこ  
うと一致団結されているの

だなあと感じました。また、  
近々耐震工事が行われ、別の  
場所に移らなければならな  
いのだとか。戻ってくるのは  
難しいとおっしゃっていた  
佐藤さんですが「戻るとも  
はないのですか」という質  
問に対しては「戻ってきま  
す。戻りたいです」と即答。  
昔から続く商店街を守って  
いきたいと力強く語ってい  
ました。

また生粋の「鶴川団地  
ボーイ」である佐藤さん。  
佐藤さんが子供のころ商  
店街中央の広場でボール  
遊びをしていた時、佐藤さ  
んの放ったボールが「浅野  
屋さん(お蕎麦屋さん)」の  
窓を割ってしまったとい  
う思い出話や、佐藤さんの  
奥さんが骨折をしてし  
まったときに近所の方が  
「大変そうだから」とパン

をくださったというエビ  
ソードなど多くの「鶴川団  
地人情物語」を聞かせてい  
ただきました。「なんで骨  
折なのにパンなんでしょ  
うね。」と笑いながら話す  
佐藤さん、他にも様々なエ  
ピソードをお聞きしたの  
ですが、この狭い枠の中で

はとても納まりきらない  
ので、気になった方は是非  
一度佐藤商店に足を運ん  
でみてくださいね。

月一の会議や住民同士  
の交流も団地の魅力です  
が、団地の中だけの交流で  
はとどまりません。鶴川団  
地では月に一度商店街の  
広場を使ってイベントが  
開催されています。イベン  
トの主催は団地の外の団  
体を呼んで行っているそ  
う。毎月開催されるイベン  
トの中でも夏に行われる  
夏祭りは、人が歩けなくな  
るほど集まるのだとか。団  
地の方々はもちろんこの  
とその方々のお孫さんや  
近隣の住民の方など、たく  
さんの人が集まってくる  
そうです。

私は生まれてから集合  
住宅に住んだことがあり  
ません。中でも団地という  
存在には縁遠い生活を20  
年間してきました。しか  
し、今回の佐藤商店への取  
材を通して「団地はなんと  
あったかい場所なのだろ  
う」と思いました。佐藤さ  
んに「団地を出ようと思っ  
たことはありませんか。」と  
お尋ねすると「ありません  
ね。これからもここで暮ら  
していきたいです。」と  
きっぱり。この言葉が鶴川  
団地の魅力を一番に表し  
ているのではないでしょ  
うか。皆さん、鶴川団地は  
本当にいいところですよ。

## 楽しい記憶の詰まった場所で

音楽教室  
和音の木

平日の午後3時ごろ、私  
達がお邪魔した時にはす  
でに室内は子供の元気な  
声で溢れていました。スタ  
ジオで楽器を演奏する子  
やボランティア講師の方  
と数学の勉強をする子。

そして小学校の学習机  
で宿題を頑張る子にアド  
バイスをしていたのが和  
音の木主催の和田智恵子  
さんでした。鶴川で生まれ  
育ち、幼い頃から団地の友  
達が多く、ザリガニを釣っ  
たり走り回って遊んだ和  
田さんにとって鶴川団地  
は一言で表すと「楽しい記  
憶しかない場所」。近年団  
地に減ってしまった子供  
の声を呼び戻し、ママのた  
めに子供を預かれる施設  
を作ろうと、保育士の資格  
を取りました。そして経験  
を積むため今は午前中は  
保育士として働きながら、  
午後は子供の預かりや、高  
齢者も参加できる音楽教  
室などを開いています。子  
供には学校や自宅への送  
迎も対応しているそうで、  
子育て中の親御さんに週  
一日でも落ち着ける日を  
作って欲しいという想い

から行っています。送迎対  
応ができるのはまさに和  
田さんが鶴川をよく知っ  
ていて、地域の小学校のお  
およそ中間に位置する鶴  
川商店街の教室ならではの  
だと感じました。

取材班が伺った日は十  
名以上の子供たちが元気  
に遊んでいました。取材後  
は和田さんも含めたみん  
なで外に出てゴム跳びを  
始めました。数日前に先生  
から教えてもらった飛び  
方をもう習得する子供た  
ち。私たちも参加させても  
らい楽しんでいると、通り  
かかったご年配の方が「懐  
かしいわね」と声をかけて  
下さいました。通行中の

方々は子供たちをよく気  
にかけているようで、声を  
かけて下さる方も少なく  
ないそう。以前スイカ割り  
をした時は立ち止まって応  
援してもらったことも  
あったとか。何気ない交流  
があることがこれからも  
団地で暮らす人の中で必  
要な生きる力になってい  
くののだと思います。

以前地域の方に「ここが  
子供の声で明るくなって  
よかったです」と話すと和  
田さん。「『寺子屋』の考え方  
を踏まえた、ここ和音の木  
から鶴川団地の新しいコ  
ミュニケーションが生ま  
れ始めています。



## ここでお店を続ける魅力

パティスリー  
ル・ソレイユ

鶴川団地の一角にル・ソ  
レイユという洋菓子店が  
あります。ル・ソレイユと  
は、フランス語で「太陽」を  
意味していて、商店街の憩  
いの場である「太陽の広  
場」があることと太陽のよ  
うに温かいお店にしたい  
という想いから名づけら  
れたそうです。屋過ぎに、  
我々取材班がお邪魔する  
と、幸せな甘い香りとも  
に温かい雰囲気漂って  
いました。

ここにお店を出す以前、  
東京の大手企業に勤めてい  
たオーナーの目下さん。鶴  
川団地にお店を出すにつ  
けは、団地の方から声をか  
けてもらったことでした。  
商店街の中心にある広場が  
気に入ったこと、小学校が  
近いこと、団地の温かみが  
子供と安心して住むことが  
出来る環境だと感じたこと  
からここにお店を出そうと  
決めました。

鶴川団地にお店を出し  
てから、以前の仕事では直  
接見ることが出来なかつ  
たお客さんの反応が見ら  
れるようになり、その良さ  
をひしひしと感じている

と言います。例えば「この  
ケーキのいいところと、  
あっちのケーキのいいと  
ころを合わせたものでは  
きますか?」「こんなもの  
が食べたい」とお客さんか  
らアイデアをもらったと  
り、ケーキを受け取ったと  
きのお客さんの嬉しそう  
な顔が見られたり。

最近では、来年100歳になる  
おばあちゃんの誕生日  
ケーキをどうしようかな  
と考えることがあつ  
たそうで、ちなみにこの  
誕生日ケーキは目下さん  
の可能な限りリクエスト  
に応えてくれるため、一人  
ひとつずつ違うものが出  
ていきます。

学校帰りにお店に遊び  
に来てくれる子どもたち  
もいて、その子どもたちが  
成長していく姿を見られ  
るのも嬉しいといえます。  
今回初めて鶴川団地を  
訪れてみて、住む人、訪れ  
る人を自然と温かい気持  
ちにさせてくれる場所だ  
と感じました。そんなあ  
ななを感じることのでき  
る空間から生まれたお菓  
子を、是非味わいに行っ  
てみてはいかがでしょう

